

〔大城勇太議員 登壇〕

○6番 大城勇太君 皆様、こんにちは。令和2年12月、最後の一般質問になりました。12月と言えば、最大の行事はクリスマスですが、大みそかと言えば私の誕生日でございます。さすがに、小学校の頃から12月31日には、なかなか友達と祝うこともなく、28日だったり、29日だったり、お祝いをよくしていたのですが、おじいちゃんとかおばあちゃんには、大みそかになったら、あしたはもう正月だからお年玉あげようねと、私の誕生日と正月のお年玉を一緒にごまかされたということもあります。今年の大みそかは是非、クリスマスも合わせて、皆様のご答弁が私の最大のクリスマスプレゼントになるように、すてきなご答弁をよろしくお願いします。それでは早速、通告書に沿って質問をさせていただきます。

大きい1番、コロナ禍におけるGIGAスクールについて。(1)タブレット端末や、Wi-Fi等の現在の進捗状況を伺います。(2)教育機会確保法とGIGAスクールを連携できないか。ご答弁をお願いします。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1点目の(1)についてお答えいたします。各小中学校のネットワーク整備についてはLANケーブルの敷設作業を完了し、機器類の設置作業に向け準備をいたしております。業事完了は令和3年2月末を予定しております。また、児童生徒用端末についても、令和3年3月中旬の事業完了に向けて進めております。(2)についてでございます。GIGAスクール構想で整備した児童生徒用端末等を活用して、不登校児童生徒に対する教育確保が図られる方法を検討してまいります。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 それでは(1)から再質問をさせていただきます。町内の小中学校、クラスで最大何人のクラスがいるか、ご答弁をお願いします。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 最大で40名編成となっております。ただし、支援学級のほうから協力学級ということで入った際には四十数名という場合もございます。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 最大40名で四十数名になるということですがけれども、このタブレット端末を一斉に四十数名が使った場合、実際にストレスなくつながる環境になるのか、お願いします。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在整備しているネットワークの整備で、ストレスなく使えることとなります。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 これを一応、ネットでもいろいろ調べてみたのですが、やはりこれだけの台数のインターネットを接続するとなると、やはり強い電磁波が出るということを想定することになるとありました。やはり大人は大丈夫でも、子供たちにとって発達に影響がないか、発達障害がないか、脳に影響がないかということを、教育環境としては今後配慮すべきだとありましたが、それに対する見解を伺います。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在の整備の中で、電磁波による影響については、検討はございません。電磁波が多く出て、子供たちに影響が出るというような確認も、今のところは取れてございません。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 本土ではアクセスポイント、ネットを接続する際に、子供たちからできるだけ遠くしたり、少しでも使用しないときには電源を切るなどという、そういった策が取られるそうですが、今後例えば、電磁波の影響が出ないとも想定されるとする場合の工夫などは、今後検討されますか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在は、そのような想定とかはございませんが、今後、必要に応じて確認してまいりたいと思います。保護の必要があれば、この方法とかも検討してまいります。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。やはり子供たちも、しっかりとこういった面に対してもいい環境での検討をよろしくお願いします。また、授業の学習ツールですけども、いわゆるアプリです。これは現在、どのように選定しているか、見解を伺います。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。現在、アプリについては検討中でございます。各学校の情報担当の先生とかを集めて、意見を聴取しながら選定していくということを予定しております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。先生方も一緒にやるということですので、また使い勝手がいいようなアプリになるかと思っております。また、この学習用ツールには、今後メール等も、本土のほうでは入ってくるとお聞きしました。豊見城市のほうでもあったのですが、やはりメールに対してのSNSや、メールを使ったいじめ、誹謗中傷、そういった条例についても今後は検討されますか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在、条例の制定は考えておりませんが、ただ学校内の運用ルールだったり、子供たちへの情報モラル教育については今後推進してまいります。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。これからであれば、是非先生方とも、こういった条例も含めて、授業で教えやすく、児童生徒にも分かりやすいようなアプリを選ん でいただきたいと思います。また先生方を、令和3年3月中旬の事業完了とありますが、4月ぐらいから始まったとして、先生方はもう先にこのタブレットを使用できる、使い方、そういったものは先生たちは事前に講習などを受けるのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 今、先生方へのタブレット端末に関する研修会を1月から3月の間に研修会を組んでやることを予定しております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。このGIGAスクール構想では、先生方にもいろいろな多大な負担をかけるかと思いますが、先生方に対して、今後、どのような負担が想定されますか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。まず、今までタブレット端末を全生徒に持たせて授業というものを多くしてきていませんので、授業のスタイルを考えていく

ということは、最初は考えていかなければならないと思います。ただ、それについても多くの事例等がありますので、ICT支援員を通してこちらで支援していくということを考えています。機器のトラブルの対応とかも、最初は不慣れで、対応ができない場合もございますので、その辺も最初はとまどわれるかと思います。でも、これについても支援員を通して、学校の支援サポート、支援もしてまいりたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。必ずしも負担をゼロにすることはできないかと思いますが、これから今回第二次補正予算、これから第三次補正予算がありますが、ここから提案ですけれども、大志議員と一緒に教育長にもご相談させていただきましたが、周辺の市町村では、児童生徒学習支援事業として新型コロナウイルス感染症拡大による小中学校の臨時休業によって生じた学習の遅れや未指導分に対応するため、中学3年生、小学校6年生に学習支援員を配置、また、中学3年生学習支援事業として臨時休校の影響による学習の遅れを取り戻すため、高校受験を控えた中学3年生で、学習塾に通えない生徒を対象にしたい無料塾を開講する事業があります。本町でも今後、地方創生臨時交付金などを通して、こういった中学3年生とか小学校6年生に受験が……、小学6年生で受験をする子もいると思いますし、中学3年生で受験をする子もいると思います。今からで間に合うかどうか分かりませんが、今後、こういった子供たちにも学習の支援や無料塾の開講などの検討はありませんか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在の計画の中では、そういった支援というものは考えておりません。ただ、子供たちの支援に関しては、学校のほうでいろいろ考えて対応しているところでございます。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 やはり今、片親世帯だったり、非課税の方々だったり、塾に行きたくても行けない子供たちもいると思います。また、コロナの影響で塾に行けない子供たち、そういった子供たちも含めて、やはり学校応援隊はえざるも含めて、中央公民館でちょっとした塾みたいな授業をやるとか、各公民館を使ってそういった事業をやるというのも、今後は検討していけたらと思っていますので、是非よろしくお願いします。

次に(2)の質問です。全国では、年々不登校の生徒が増加している傾向が見られます。18年度の調査によりますと、小中学校合わせて16万5,000人。本町では、30日以上が長期欠席になるかと思いますが、不登校の生徒は、本町の小中学校でどのぐらいいますか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。11月末現在の30日以上の不登校の児童生徒数は小学校で18名、中学校で30名となっております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。小学校18人、中学校30人、この子供たちが今現在、学校外で不登校の支援施設か、フリースクールを利用して出席扱いになっている子供はいますか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在、不登校の児童生徒の中で、フリースクール、教育研究所にある適応教室、町の教育委員会が設置している教育センターのほうで学んでいる生徒が7名おります。出席扱いとなっております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 48人中7人ですから、まだまだ少ないと思っております。全国の学校外のフリースクールや不登校の支援施設などを使って、出席扱いになった生徒が平成28年度ですか、2万3,000人、約14%ほどしかいないそうです。やはり平成30年度のIT等を活用した学習活動を行った場合の出席扱いの積極的な対応について、いろいろ要項等も出ているかと思いますが、今後またIT等を使った出席扱いに、今後も本町はどのような考えがあるか、よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今回、児童生徒用の端末を整備しますので、それを活用して不登校の児童生徒に対して課題とかを配付したりしながら、出席扱いとすることは可能だと考えます。ただし、出席扱いにするときには、教育課程を見て、校長先生のほうでそれを満たしているとか、そういう判断があつての出席扱いとなりますので、どのような手法の教育課程が望ましいかというのは、また今後教育委員会、学校と話し合ったいと考えております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 これは平成17年度からITを使った出席扱いの法律が制定されていますが、フリースクール等を利用して出席扱いになった生徒は、平成28年度時点で、全国で16人、中学校で142人、平成30年度で二百数十人、令和元年度は600人ぐらいと年々増加しているそうです。やはり今回のGIGAスクール構想で、小中学校1人1台タブレットを持つわけなので、是非これを自宅に持ち帰ることができる場合、不登校生徒の自宅にも

オンライン授業を活用でき、不登校支援施設を利用する場合も、タブレット端末を積極的に利用できる。それが実現できれば、不登校生徒が自宅にいながら、あるいは学校外、支援施設等にいながら、各教科の正当な評価が得られ、そして出席扱いや成績評価、学校長の成績等もあるかと思いますが、そういった面も含めて、このGIGAスクール構想で、今後は南風原町も出席扱いにできるか、改めてお願いします。

○議長 玉城 勇君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 ご質問の趣旨としては、不登校だけではなくて、学校に来られていない生徒のことを聞かれているかと思うのですが、その辺については、今後、教育委員会でも、こういった形で、こういう機材も使ってサポートできるかという部分については調査研究して、対応ができるような形であれば、またこちらのほうでもその対策を考えていきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。この機械をみんなが1人1台持つわけですから、そういった面も早期実現に向けて調査研究なりしていただけたらと思っております。

次に大きい2番、津嘉山公園の整備状況について伺います。(1)現在の進捗状況を伺います。(2)今後の一括交付金を想定した場合、計画どおり完成するか。(3)計画が遅延する場合、PFIも検討すべきではないか。ご答弁をお願いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目の津嘉山公園の整備状況について、(1)についてお答えします。令和2年度末事業費ベースでの進捗率は50.8%となります。(2)についてお答えします。近年、都市公園事業の一括交付金の要望額に対する配分額が3割程度となっており、計画より完成が遅延すると思われまます。(3)についてお答えします。津嘉山公園整備の遅延の主な要因は補助金の配分減によるものです。PFIでの事業推進については、今後、他市町村の参考事例等も確認してまいります。以上です。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ご答弁ありがとうございます。(1)から再質問させていただきます。50.8%の進捗状況とありますが、金額ベースではどのぐらいなのか、教えていただけますか。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。津嘉山公園においては、全体事業費が18億

6,000万円。これは平成20年から令和3年までの事業認可の区間の当初の申請です。その額が18億6,000万円です。津嘉山公園においては、区画整理区域内で事業をやっている関係で、用地費として区画整理の事業に用地交換金という形で、区画整理の事業に充てている部分があります。このほうは100%完了となっていて、用地費として11億4,900万円です。施設としましては、中の整備に当たる部分です。7億1,100万円です。これは全体の整備です。令和2年度末、今の50.8%の事業費ベースとしましては、令和2年度末で3億6,100万円。これは施設の整備金額です。それで50.8%となっています。今の50.8%に関しては、用地対応費の8%は入っていません。あくまでも面整備に関する事業費ベースです。以上です。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 では(2)を再質問させていただきます。当初の完成予定はいつでしょうか。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。津嘉山公園において、過去にも地元の議員からも完了年月日とか進捗も、何回か質問がございまして、当初の完成年度は平成33年でした。令和3年です。ということで、事業認可のほうも令和3年までの事業認可となっていますけれども、実際の今の事業費ベースからしますと、今のところ令和6年の予定でやっております。ただ、回答にもありますとおり、一括交付金の沖縄振興の配分が3割程度となっている関係で、今のベースで行きますと、令和6年もまた検討の余地があると考えます。以上です。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 当初、令和3年から令和6年。今回も一括交付金の配分額は約70%カットされたということで、令和6年よりもまだ延びる可能性もあると。そういう理解をしますが、現在、各市町村の指定管理業者等、議員だったり、いろいろな関係部署と、PPP/PFIの勉強会を重ねているところでございます。まだまだ未熟な部分がありますが、全てを理解しているわけではありませんが、(3)の質問をさせていただきます。通常の場合、津嘉山公園における建蔽率を、そしてPFIを活用したときの建蔽率はどのくらいになりますか。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。公園の基準からしますと、公園面積の10%が建蔽率となっております。ただし、可能な限り12%まで設置できるという特例がございます。以上です。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 これは、P F Iを活用した場合の12%ということによろしいですか。それとも通常の場合の12%なのか。もう一度お願いします。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 今の12%に関してはP F Iの活用ではなくて、通常の特例の場合のリストのとおりです。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 通常の場合の建蔽率が12%、ではP F Iを活用した場合はどのぐらいまで建蔽率が上がるのか。特例も条例等もあるかと思いますが、分かる範囲でお願いします。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 今のP F Iについての建蔽率の増加分は確認しております。ただ、都市公園の条例上の建蔽率の12%というのは、特殊な例ということで認識をしております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。課長がおっしゃっているように12%の建蔽率。P F Iを活用した場合は、それが最大、条例にも含まれますが、24%までできると。最大、屋根つきの休憩施設を含めたら34%まで建物が造れるとありました。やはりこのP F Iを使えば、飲食施設のテナント、そして休憩施設、子供たちが屋根つきの休憩所など、そういったものも造ることもできて、また飲食店などがテナントを造れば収益を得ることもできる。資金調達も民間業者にやってもらうことができる。今後の維持管理も含めて、民間業者がやるということで、町の負担は大分最小限で済むのかと思いますが、設計から維持管理費まで民間業者にお願いすることになります。現在勉強する中で、今、農連プラザが維持管理において、何でこんなつくり方をしたのかと頭を悩ませているそうです。換気扇が上を向いて、屋根の上を向いているから、こんなものを維持管理しなさいというものもなかなかないというのも聞きましたが、先日の新聞でもあったように、建設管理運営企業で構成される県内企業初のS P C、共同特別目的会社の共同体みたいなものですが、宮古島の宿舎をP F Iで、県内で初めて工事に着手しました。指定管理業者と設計、建築は一体になるほうが管理のしやすい設計になると思います。この令和6年を超えていくのであれば、やはりコロナの影響で今後も見通しがつかない、そういう状況であれば、やはり

民間のアイデアやノウハウも活用して、P F I で津嘉山公園の早期完成を検討していただきたいのですが、見解を伺います。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。私どものP F I 事業というのは、過去に、平成29年度に全職員の勉強会の場がありまして、参加したり勉強しております。ただ、津嘉山公園においては、当初、公園事業の認可で始まっていて、この中の計画のほうは、管理棟がありまして、多目的広場がありまして、遊具広場、あとはパークゴルフ場です。その辺でいろいろ過去の、県内というか、全国のP F I の利用状況を見ますと、この中のほうにカフェがあったりとかコンビニがあったりとか、そういう使用収益が民間も合体、一つとなって収益が上がるような感じの事例が多いものですから、今後、これを検討するに当たりまして、今、事業で走っている、管理棟しかない部分に、今言ったコンビニとか、こういうカフェ関係を計画変更するのも含めて、その辺を検討しながら、隣市町村も参考にしながら考えたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。今現在、豊見城市でもパークゴルフ場の建設の検討がされていて、54ホールかな、津嘉山公園は9ホールですね。何倍ものパークゴルフ場が豊見城市にできることになるので、やはり9ホールだけでなく、何回も行ったら飽きて、今度はほかに行こうということにならないように、もっともっと建設ができるような形で、今後も公園、またいろいろな収益施設も検討していけたらと思います。やはりこの津嘉山公園ができるから、近くに移り住んで、完成する頃には小学生が高校生になっている。もう高校生は公園にはなかなか行かないと思いますので、是非早めに完成できるような検討をよろしくお願いします。

続いて大きい3番、町内保育園、幼稚園、小学校の安全管理について。(1)以前も一般質問した、はえぼる保育園のキッズゾーンの表記はどうなっているか。(2)津嘉山小学校でも登下校の際、事故にはならなくてもけがになる車との接触事故が相次いでいる。何らかの対策ができないか伺います。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項3点目の各施設の安全管理についての(1)についてお答えします。キッズゾーンの設定・表記については、対象の保育所を含めた各関係機関等との調整をしているところです。ご質問の場所については、ドライバーに注意を促す看板を設置することを検討しております。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項3点目の(2)についてお答えいたします。各学校では事故防止のために、児童生徒に対する交通安全指導、小学1年のときには与那原警察署と連携した「交通安全教室」での交通安全教育や、PTA、それから老人会の協力を得て登下校の安全見守りなどに取り組んでおります。町内で交通事故が発生した場合は、その都度、全学校で交通安全指導を行うなど、取組の強化を図っておりますので、引き続き、交通安全教育による啓発と地域連携による安全見守りによる対策に取り組んでまいります。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ご答弁ありがとうございます。(1)から再質問させていただきま  
す。ちょうど1年前の12月にこの一般質問をさせていただきました。答弁書では、各関係  
機関との調整をしているところだとありましたが、現在、南風原保育園、管轄する与那  
原警察署、道路管理者との協議、また現場の調査などは行いましたか。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。我々担当も含めて、現場の調査を行いま  
した。かつ保育園の関係者に内容の確認をいたしました。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 保育園の関係者、確認して、危ないと言っていたのか、やってほし  
いと言っていたのか、どう答えていらっしゃいましたか。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。園の関係者からは、園の出入り口前の道  
路についての通行について、すぐ園を出たときの入り口の前が道路になっているもの  
ですから、その点についての危険性の話はございました。そこでまたキッズゾーンを  
設置してほしいという話はございませんでした。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。この南風原保育園の門付近が道路になっ  
ているということで、向かいにはアパートがあって、結構アパートの住民の方か分から  
ないのですが、路駐している車が結構あります。ほとんど毎日と言っていいほどある  
かと思うのですが、路駐した場合は片方にしか車が通らない。南風原保育園にしか  
両方側から通らない。本当に、見ていて危ないと思うのですが、本当に見えても、  
いつ事故が起きてもおかしくないという状況にあります。保育園からのキッズゾ  
ーンの要望がなくても、是非キッズゾーンという……、平成29年度に滋賀県の  
事件がありましたから、それも含めて、

早急にキッズゾーンの路面標示だったり道路標識、グリーンベルトの何らかの設置が今後可能なのか、お伺いします。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 答えいたします。我々、この現場の状況、また保育園からの要望なども含めて検討していきませんが、現時点では対象箇所の部分については、看板などの設置のほうが有効的ではないかと考えております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 やはり路面にキッズゾーンを標示したり、グリーンベルトをするだけで路駐も減ると思うんですよ。こちらは子供たちが通るところだよという、ある程度の標示をしていただければ、この路駐だったり、そういった危険なゾーン30だったり、スピードも落とすかと思しますので、是非これ、早急な対応をよろしくお願いします。

続いて(2)ですが、これも2回目ですけれども、つい1週間前ぐらいですか、じんじんメールでこのような文が送られてきました。「最近、下校後の児童のけがが増えていきます。多いのが下校後、お迎えの保護者の車を待つ間に起きた事故です。事故にはつながなくても、危険な事象があった事例は、学校にも多く寄せられています。公民館や学校周辺でお迎えを待つ場合は、車の往来のある場所で遊ばないことや、狭い場所で走らないこと、ご家庭でも注意をお願いします」。危険な事例が学校に多く寄せられているとありました。やはり1件や2件ではなく、私も小学生がいるものですから、何回もこのような危険な事例は聞いてきました。特に雨の多い日だと、津嘉山小学校付近に乗り入れする車が約600台。やはり子供たちは傘を持っていたら車に気づかないことも多いのです。やはりそれを含めて何かしら坂下だけ、公民館までの坂下だったり、与那原警察署と協議をして、何らかの対策はできないものなのか。答弁書にもありましたが、PTAや老人会の協力を得てとありますが、老人会からも私に連絡が来て、どうにかならないのかと言われているのです。それぐらい下校後の公民館にいる子供の数、坂下の危険というのは、やはり老人会もPTAも常に思っていることなので、これもやはり、路面標示とかグリーンベルトとか、そういった標識ができないものなのか、見解をお伺いします。

○議長 玉城 勇君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 答えいたします。道路管理者であるまちづくり振興課になりますけれども、私どものほうでは、グリーンベルト等については近年設置をしまっておりましてけれども、何せ町道はかなり路線も多いわけですから。それから対策を講じる路線もかなり多いものですから、その辺の優先順位的なものもありますので、すぐ設置に向けての検討ということが、調査をして、優先順位等も勘案しながら、対策を講じていくことは可能ではないかと思っております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 やはりいろいろ調べたら、スクールゾーンだったりいろいろあるかと思うのですが、スクールゾーンだったら、周辺通りの住民の方々に同意も得ないといけない。また、ゾーン30でも標記だったりいろいろなハードルがあるかと思いますので、やはり南風原保育園も津嘉山小学校も危ないことには変わりがないので、何かしらの対策等が検討できればと思っておりますのでよろしくお願いします。

次に大きい4番、町長の政策を問う。(1)2022年4月から県全域で中学卒業まで入院、通院費の医療費を無料にすると報道がありました。町長は高校まで医療費を無料にすると公約でありましたが、今後高校生まで医療費を無料に出来るかをお伺いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項4点目の町長の政策を問うについてお答えします。高校卒業までの医療費無料化については、方針としてはあります。しかしながら、実施時期については財源の確保や社会情勢等を踏まえて検討してまいりたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ご答弁ありがとうございます。再質問をさせていただきます。現在、中学生までの医療費はどのぐらいかかっているか、教えてください。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。直近の令和元年の集計によりますと2億2,139万4,957円の数字となっております。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 中学生までの医療費が約2億2,130万円とありました。沖縄県が2020年に医療費を中学生まで無料にした場合、本町の持ち出しが2億2,130万円軽減されるという認識でよろしいですか。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。先ほど申し上げた2億2,139万4,000円は、こども医療費の自己負担分の医療費となっております。南風原町は、この2分の1分を県から医療費として……、この2億2,000万円のうちの未就学児分に対する対象者の2分の1分を県から補助として受けております。ですので、中学生までの部分が、この部分が全部今後なくなるという話にはならないです。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 未就学児の半分と、小学生から中学生までの医療費の南風原町からの持ち出しの金額は分かかりますか。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 お答えいたします。小学生から中学生までの医療費に係る分は8,800万円かかっておりまして、その分の町の持ち出しという部分については、その分の2分の1、約4,400万円となっております。

[大城勇太議員より「休憩願います」の声あり]

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午前11時44分）

再開（午前11時45分）

○議長 玉城 勇君 再開します。6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 未就学児から中学生まで、本町の持ち出しが約1億2,000万円ぐらいだと思いますが、この軽減された分で、高校生までは十分医療費を無料にできると思いますが、与那嶺企画財政課長、高校生まで、この1億2,000万円でどうにか無料にできると思いますが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 先ほど副町長より答弁がありましたように、財政状況や社会情勢等を踏まえて検討していきたいと考えています。以上です。

○議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。隣の豊見城市の中学生から高校生までの医療費の負担をお聞きしたところ、約2,000万円ぐらいだとお聞きしました。南風原町においても、高校生はなかなか風邪もひかないし、少しの通院、入院だとは思っているので、調査研究して、どのぐらいかかるのか、これからどのようにして軽減、無料にできるかというのを検討していただけたらと思います。是非町長からご答弁をいただきたいのですが、町長が2018年の5月9日に就任して、今日で953日を迎えました。これまで、町内小中学校全教室に、クーラーなどの様々な公約の実現に向けて取り組んできたと思います。やはり町

長の高校生までの医療費拡大も公約に上げていますので、2022年からと言わずに、来年度からでも取り組んでいただけたらと思いますが、町長、見解をお伺いします。

○議長 玉城 勇君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。こども医療費助成事業の高校生までの拡大、拡充についてでございますけれども、議員ご指摘のとおり、公約という形で私の方向性といえますか、方針を示してございます。そこで、実施についてでございますけれども、議員は、来年からでもというお話でございますが、財政の状況、あるいはまた今回の中学生までの現物、あるいは償還払いの方法とか、県がまた新たな考え方を示してきているわけでございますので、そういった県の動向、あるいはまた県内のいろいろな社会情勢、そういったものを見極めていかないといけないと考えているところでございます。そういうことで、基本的には任期中には是非とも公約を実現したい思いはありますけれども、そういう財政状況とかいろいろな状況がありまして、あるいはまたほかの事業等の優先順位等もありますので、それは議員ご要望の一朝一夕にはなかなか難しいという考え方でございます。しかしながら、冒頭申し上げましたように、公約として、私の方向性、方針は示してあるわけでございますので、可能な限り早い時期に実現できるように鋭意努力してまいりますので、そのようにひとつご理解をお願いしたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 先ほどの答弁に補足して説明をいたします。先ほど、就学時、あるいは未就学児の医療費に関して、その医療費が幾らかかっているのかという確認のやり取りがございましたが、県の年齢拡充に伴って、南風原町で年齢拡充の通院分県補助金で今後、増加するという見込みは4,400万円となっていることを補足して説明いたします。  
議長 玉城 勇君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 今の答弁に再質問をするつもりはありませんが、町長の公約がしっかり高校生までとありますので、今後も任期中には是非公約を実現していただけたらと思います。これで質問を終わりますが、まだまだ先の見えない、コロナウイルスに関わっている全ての医療従事者や保健所、そして救急隊員の皆様、そして、日々医療の最善性で懸命に治療を行っていただいていることに、心より感謝を申し上げるとともに、本町の執行部の皆様におきましても、地方創生臨時交付金の二次補正や、これからあるであろう三次補正。様々なコロナ対策に、多大なるご尽力をいただき、重ねてお礼を申し上げます。私たち16人の議員全員にとって、政治が町民にとって何が求められているのか。そして何ができるのか。今後も、しっかり雇用、耳を傾けて、今後も、小さなことで一步に全力で取り組んでいく心構えですので、町民にとっての最善の策をまたこの事業でしっかりと議論をして、安心したまちづくりに、取り組んでいけたらと思いますので、これからもどうぞよろしく申し上げます。以上です。ありがとうございました。